

LOD活用サイクルの確立に向けて

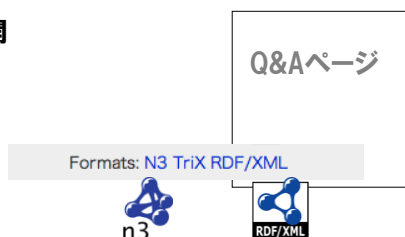
佐藤 宏之（NTTレゾナント株式会社）
LODチャレンジ実行委員会委員

2012/3/8

セマンティックWebコンファレンス2012 パネルディスカッション
「セマンティックWebとLODのビジネス化の可能性」

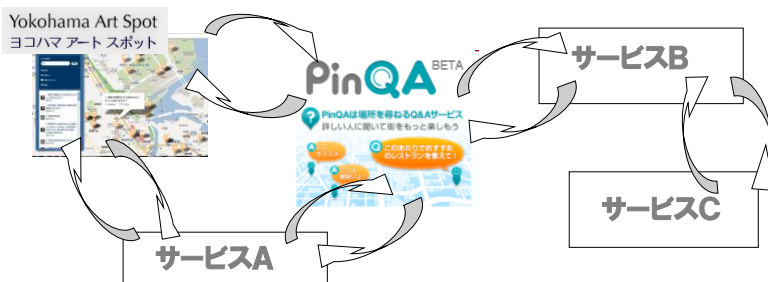
PinQAのLOD対応

- ・ 場所に関するQ&Aサービス「PinQA」のLinked Open Data (LOD)対応を、LODチャレンジ開催に合わせて検討した
- ・ LOD対応
 - 既にあるLODを取り込んでサービスを拡充する
 - データをLODとして公開する（←こちらを先に実施することにした）
- ・ LOD公開
 - 各Q&AのメタデータをLODで公開
 - SPARQLのエンドポイントを設置



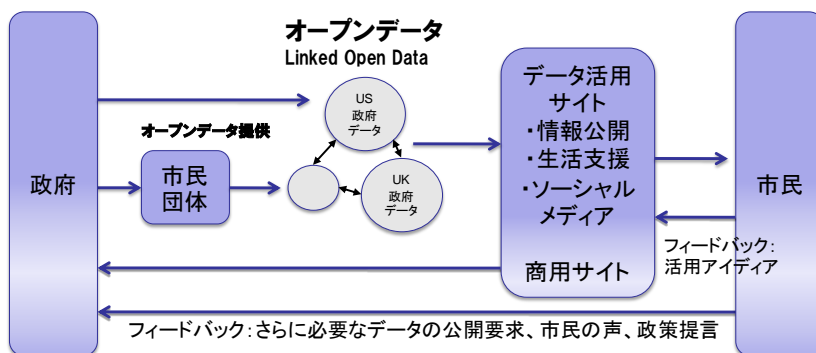
LOD対応により実現したかったこと

- ・ まずはデータを使っていたかく
 - データを使っていたサービス役に立つように
- ・ 連携したサービス同士で機能を補完する
 - 例えば、Q&Aのやり取りはPinQAの機能を使っていたかく
- ・ サービスの利用者、扱うデータを全体的に増大させる
 - ソーシャルの力も活用し、データのエコシステムを形成したい



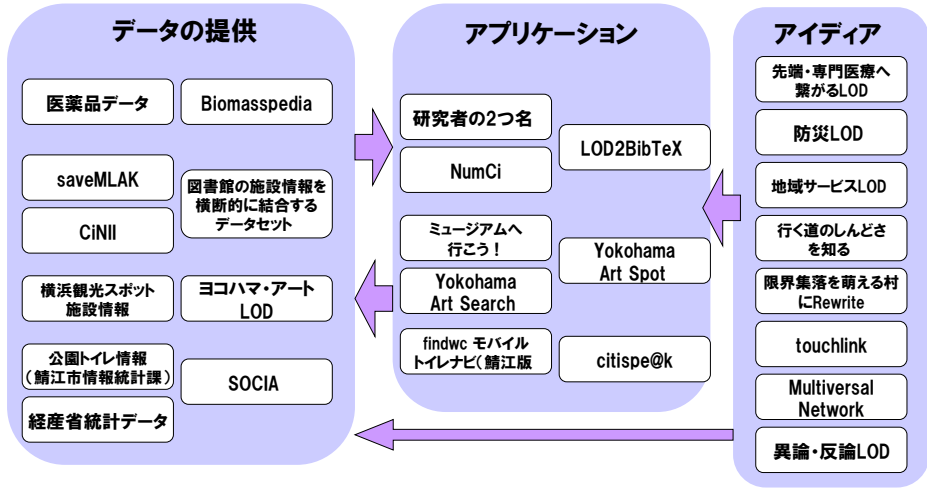
データの公開と活用のサイクルをまわしたい

- ・ オープンガバメントのオープンデータに期待



LODチャレンジで日本の可能性が見えた！

- ・ LODチャレンジ2011のガバメントデータ関連の応募作品など
 - 省庁およびローカルガバメントのデータ、公共データに関するもの



おわりに

- ・ 課題はあるものの、LOD活用サイクル確立に向けた基盤が整いつつある
 - 技術だけでなく、コミュニティも
- ・ 具体的な活動の中で課題を解決し、継続的な発展を目指したい